



© 岡本卓也

旭川市大雪クリスタルホール自主文化事業

山形由美フルート トリオ・コンサート

山形由美（フルート）

豊かで美しい音色、確かなテクニックで支えられた演奏と、暖かな人柄とが相まって、多くのファンを得てきた山形由美は、1986年のデビュー以来「聴く人を幸せな気持ちにするフルーティスト」として、つねに第一線で活躍し続けている。

東京都出身。4歳よりピアノとヴァイオリン、6歳よりバレエを習い始め、14歳のクリスマスにフルートとの運命的な出会いを果たす。

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後渡英。野口博司、故小泉剛、エドワード・ベケット、スザン・ミラン、トレヴァー・ワイ、サー・ジェームズ・ゴールウェイなどに師事。

1986年キングレコードよりファーストアルバムをリリース。同年第1回リサイタルを開催。またたく間にフルートの新星として知られるようになる。

演奏生活30周年を迎えた2016年9月には、セルフプロデュース第3弾となる記念CD「Eternally～永遠のジゼル～」をリリース。バレエや舞踏音楽とフルートの魅力が融合したアルバムは各方面で高い評価を受け、レコード芸術選盤に選定された。同年開催された記念ツアーは国内はもとよりパリでも大成功を収めた。

30年にわたり各地でおこなってきた精力的な演奏活動やTV・ラジオ出演などを通じて、フルートに対する人々の関心を広く集め、フルート愛好者を増やした功績は大きい。また独自の感性による曲の開拓にも積極的で、フルート界に新たなレパートリーを生みだしている。

昨秋、都内にフルートサロン「メゾン・デュ・リエール」をオープンし、講座や個人レッスンを通して音楽のある豊かな暮らしを提唱している。

●オフィシャルサイト <http://www.yumi-yamagata.com>

●オフィシャルFacebook <https://www.facebook.com/yumi.yamagata.fl>

榎本 潤（チェンバロ・ピアノ）



国立音楽大学ピアノ専攻科を経て同大学院を修了。第7回ピアノオーディション全国大会入賞。第34回北九州芸術祭にて最優秀伴奏賞及び全日空賞を受賞。これまでに、古澤巖、山形由美、錦織健、岡本知高、東儀秀樹の各氏ら著名アーティストと全国各地で共演。また、世界的ヴァイオリニストのアナ斯塔シア氏や、『ザルツブルク室内管弦楽団』等とも共演している。現在、声楽アンサンブル「J スコラーズ」を率いてBS-TBS「日本名曲アルバム」出演中。昨年からはBSジャパン『おんがく交差点』にも出演している。昨年7月には『モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団』来日公演にてソリストとして出演し喝采を浴びた。その他、チェンバロ、指揮、作曲、編曲、レコーディング、後進の指導など幅広く活躍。現在、国立音楽大学講師。

●オフィシャルサイト <http://www.c-horizon.com/enomoto.html>

井戸柄里（ヴァイオリン）



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。

第45回全日本学生音楽コンクール高等学校の部、第1位。ミケランジェロ・アバド国際コンクール（イタリア）第3位。日演連新人演奏会において仙台フィル、北西ドイツフィルハーモニー、朝来ジュニアオーケストラと共に演。

蓼科高原音楽祭奨励賞、霧島国際音楽祭奨励賞、倉敷音楽祭、朝来国際音楽祭などに出演の他、ソロ、室内楽、オーケストラ等で演奏活動中。